

科目名：	会社四季報で学ぶビジネスモデル		科目コード	EK83		
科目主査：	安藤 紫	担当講師：	安藤 紫	単位	2	
授業の目的と概要			グループワーク：	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	個人ワーク：	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし
<p>目的：①企業が売上や利益を獲得するためには、さまざまな形態(=ビジネスモデル)があることを知り、理解する。 ②企業活動が私たちの生活や考え方、景気などにも影響することを確認し、世の中や企業への関心を高める。 概要：テキスト内で紹介されている企業以外の事例や世の中での出来事なども採り上げながら講義を進めていきます。みなさんが「関心のあ る企業、出来事」などもお尋ねしますので、講義やグループワーク時、積極的に発信いただくことを期待します。</p>						
履修の前提となる科目	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	科目名：				
履修の前提となる知識 その他特記事項	<p>事前にテキストを熟読してください。中でも「はじめに」と「監修者メッセージ」の合わせて6ページは精読してお いてください。わからない用語などについては「都度、調べる(ネット検索、生成AIに尋ねる)」ことを習慣とすること をめざしていきましょう。</p>					
テキスト	『もうけの仕組み：ビジネスモデル大図鑑 404社を徹底検証!』会社四季報業界地図編集部(編集), 井上 達彦(監修), 2025年					
この科目の 到達目標	<p>①「業種」と「ビジネスモデル」の違いを理解できている。 (同じ業種でも「ビジネスモデルが異なる」場合があることを理解できている。) ②企業の“もうけ”や経営効率を評価する指標にはさまざまなものがあることを理解できている。 ③企業活動への関心が高まっている。</p>					
成績評価 の方法	<p>1日目終了後の課題及び最終試験の得点に、講義中の取り組み姿勢(チャットの発言や質問の積極性)を加味して評価します。 ※スクーリング全日の出席、課題、最終試験の提出(未入力提出不可)をもって、採点対象とします。</p>					
事後学習	<p>「企業に関するニュース」は日々、大量に報道されています。まずは「関心のある会社」や「気になったニュースタイトル」から で良いので、報道内容が「その企業のビジネスモデルや業績にどのような影響がありそうか？」を考えてみるようにしてみましょ う。さらにその状況に関連しそうな「(その企業にとっての)外部事業環境要因」にも関心を広げてみてください。そうした思考を 習慣化することで、ビジネスモデルや世の中の動向/変化の予兆を感じることができるようになっていくはずです。</p>					
事後学習の 参考文献	<p>①『ビジネスモデル全史〔完全版〕』三谷 宏治, 日経ビジネス人文庫, 2025年 ②『ゼロからわかるファイナンス思考 働く人と会社の成長戦略』朝倉 祐介, 講談社, 2022年...②については、同書でなくても構 わないので、財務会計関連、“決算書が読める”などのタイトルがついた「自身として最後まで読み切ることができそうな本」を ぜひ見つけてください。</p>					
スクーリング受講時に用意するもの						
<input checked="" type="checkbox"/> テキスト <input checked="" type="checkbox"/> 筆記用具 <input checked="" type="checkbox"/> カメラ・マイクは必須となります。						